



沖縄県伊江村
議会広報



いえそん



伊江村議会事務局



消防団長 玉木伸治



村民との意見交換会 P10~11

- ・ **一般質問** 行政のココを問う ... P2~7
- ・ わたしたちの **未来** P16



第2回目の
意見交換会!
ぜひチェック!!

問 答



議会広報「いえそん」P15に掲載!



伊江島広報「イーハッチャー」3月号に掲載!



広報紙を読もう 連携企画第7弾

ここを問う

一般質問の詳細については、ホームページの第10回定例会をご覧ください



庁舎建設に伴う敷地選定について

村長 令和11年度着工、令和12年度の完成を予定している

問 新しく庁舎を建て替えることが計画されている。庁舎建設地については4か所の候補地が挙げられ総合評価したところ、西江前区ミースイ公園北側の地域が有力地であることが、8月18日の議員全員協議会で報告され、まだ決定ではないとのことだった。庁舎建設については村民の大きな関心事である。そこで、次の点について伺う。

- ① 西江前地区に決定された理由を伺う。
- ② 西江前区の説明会ではどのような意見が出ていたか。
- ③ 完成予定はいつ頃か。

答 村長

令和7年5月に村内の各団体長、識見者などで構成する「伊江村庁舎等複合施設建設検討委員会」を設置し、これまで3回開催し、西江前地区に決定した。



庁舎建設予定地

① 伊江村庁舎等複合施設の用地選定に係る基準を定め、防災性、利便性、実現性、経済性の観点から4候補地の中から、ミースイ公園北側に決定した。

- ② 11月18日に近隣住民説明会を実施したが、「庁舎が完成した場合、周辺の畑で日照不足による作物への影響はないか」「庁舎敷地への接続道での車両渋滞の懸念、一般車両の導線」などの御意見があった。
- ③ 令和7年度に基本計画を策定し、順調に行けば、令和11年度着工、令和12年度の完成を予定している。

建設場所を当局では10月17日決定したとのことであるが、議会に対して決定後の報告は未だにない。また、住民への説明会は早めの実施していただきたいと思う。

村長 当面的間、条件を緩和せずに続けていくことが重要だと考えている

移住定住促進住宅への入居状況について

問 令和6年5月から入居が始まり、約1年半が経過し12世帯のうち、令和7年11月現在6世帯入居している。計画では5か年目に満室にする計画であったが、達成できるのか。村民から「大きな建物は造ったが入居者が少ない」、「募集条件が厳しいのでは」等の声が出ている。そこで、次の点について伺う。

- ① 当初計画通り達成は可能か。
- ② 募集条件の緩和についてどのように考えているか。
- ③ 入居希望者の問い合わせの状況はどうか。
- ④ Uターン、つまり村出身の若者が島に帰るようPRしてはどうか。

答 村長

① 順調に推移しており、入居決定後に申請者の諸事情で入居を断念したケースが5件あったが、今後達成は可能と考えている。

- ② 募集条件は各区の区長、書記と調整を行い、後継者不足、高齢化、子育て環境等の課題を解消するため、子育て世代を入居させ、地域活性化を図ることとしており、当面的間、条件を緩和せずに続けていくことが重要だと考えている。
- ③ これまで280件を超える問い合わせがあり、入居申し込みは18件となっている。



しまぶくろよしのり 島袋 義範 議員

④ Uターンを含めた移住支援を行っており、SNSや各イベントで周知活動を行い、希望者をサポートしている。

問 子育て世代に限定し入居させることも大事だが、定年後に移住してこれまでの経験を活かしてもらいたいという手だとも考える。18件中5件のキャンセルがあったとのことだが、理由は。

答 企画課長 新保礼人

本人の体調や、その御家族の体調不良、仕事の都合というのが主だった理由である。

問 5年後に移住住宅を出る際の仕事や住宅建設用地等の面倒を見て、「移住してくれてありがとう」。永く伊江島に住んで下さい」と言えるようであればと私は思う。

答 村長

ずっと伊江島に住んでいただくような施策を具体的にどのようにしていくのか、しっかりと内部で検討していきたい。

村政の

村民や事業者に物価高騰対策支援の取り組みを

村長 村民全体を対象に、1人当たり5,000円分の商品券を配布。令和8年度予算案において、生活者及び事業者に対して実情に即した支援のあり方を検討していく。

- 問** 令和7年度も、エネルギー・食料品・農業資材・建設資材等の物価高騰は、村民の家計や事業者の経営を圧迫している。そこで、令和7年度の補正予算や令和8年度予算の取組について4点伺う。
1. 村民全体を対象にした支援策で、補正予算や令和8年度予算案に計画はあるか。
 2. 農業共済費支援事業で、収入保険の掛け金を一部補助しているが補助率の増額はできないか。
 3. 住宅リフォーム支援事業は、工事費の20%を補助し最大30万円の補助だが建設資材も高騰している状況であるので、令和8年度予算で補助率と上限額の増額はできないか。
 4. 伊江村農産物生産安定支援事業（農業購入費・肥料購入費・出荷箱購入費）は、名城村長の任期中は継続すると認識しているが、農家から継続の要望が多いが令和8年度以降について、村長の考えを伺う。

答 村長 国の重点支援地方交付金を活

用して、今定例会において10回目となるタッチゅん商品券に係る予算を補正計上している。補正予算が議決いただければ、1人当たり5,000円分の商品券をできるだけ早い時期に全村民に配布し、家計の一助になればと考えている。また、令和8年度予算案において同交付金などを活用し、生活者及び事業者に対して実情に即した支援のあり方を検討していく。



タッチュン商品券-第10弾

2. 当該事業は、令和6年度からスタートした農業者が加入する収入保険の農家負担額の6分の1を補助する事業である。令和元年に20人であった加入者数は毎年確実に増加しており、令和7年には有資格者122人に対して加入者61人（加入率50%）となっている。本年度事業からは、ふるさと納税の基金を財源としており、令和8年度以降の補助率の増額については、農業経営のリスクの高まりや、昨今の物価高騰により厳しい農業経営が強いられる状態を鑑み、持続可能な農業経営の基盤が構築できるよう、安定的な財源の確保を含め前向きに検討していく。
3. 緊急経済対策住宅リフォーム支援事業は、厳しい経済・雇用情勢が続く中において、村民の皆様が自己の居住する住宅について、村内施工業者を活用して修繕・補修・耐震補強等の改修を行う際に、その経費の一部を助成することにより、地域経済の活性化と雇用の安定・確保に資することを目的とし
4. 昨年度は国の重点支援地方交付金を活用し、本年度及び令和8年度まで「伊江村過疎地域持続的発展計画書」に基づく過疎対策事業債を財源とした事業実施を計画している。4年目となる令和9年度以降の事業継続については、現時点で明言することはできないが、財源の確保はもとより、農業経営を取り巻く状況や社会情勢を注視し、総合的に判断したいと考えている。



しまぶくろつとむ 島袋 勉 議員

村内全域・光ファイバーケーブル整備を目指し 「ブロードバンド・ゼロ地域の解消」を

村長 1 未整備地区を解消できるよう、通信事業に対して新設、共架調整など要請を引き続き行っていきたい
2 県内各離島自治体及び北部自治体同様の事例があれば、連携をして要請を行うことも検討したい

問 12月2日に議会主催で行った、住

民意見交換会の要望の中に「村内のある場所で『auひかりちゅら』を契約しようとしたら契約できない、生活環境を改善してほしい」との要望があった。

村当局から「過去に伊江村役場と民間事業者による通信設備整備をした経緯はございますが、あくまでも通信基盤は民間事業者が整備を行い、管理を行うものでありますので、役場が主体的に回線を敷設・提供できるものではないかと。今後、電柱の新設、共架調整など必要に応じて協議を行い、民間事業者の設備管理者へ要請を続けて行きたいと思っております」との回答であった。

現行、村内多くに光ファイバー未整備地区が点在し、整備地区はごくわずかだと思える。独立採算の民間事業者は、費用対効果を求めることから、収益性が低いと見込まれる地域については、消極的な施設整備になるのではと思慮する。しかし、移住定住希望者

は「リモート会議、在宅ワークなど」通信環境のブロードバンド化が移住定住

判断の一つだと言われている。また、村当局が進めるDX化との整合性の確認を含め、次の点について伺う。

1. DX化の目的の一つ、デジタルデバイス（情報格差）の解消のため、ブロードバンド化を加速すべきではないか。
2. 県内各離島自治体及び北部自治体と連携し、関係機関へデジタルデバイス（情報格差）解消の要請を行うべきではないか。

答 村長

本村の光回線整備は平成27年度に行われ、現在では、約800世帯が光回線によるインターネットをご利用されている。

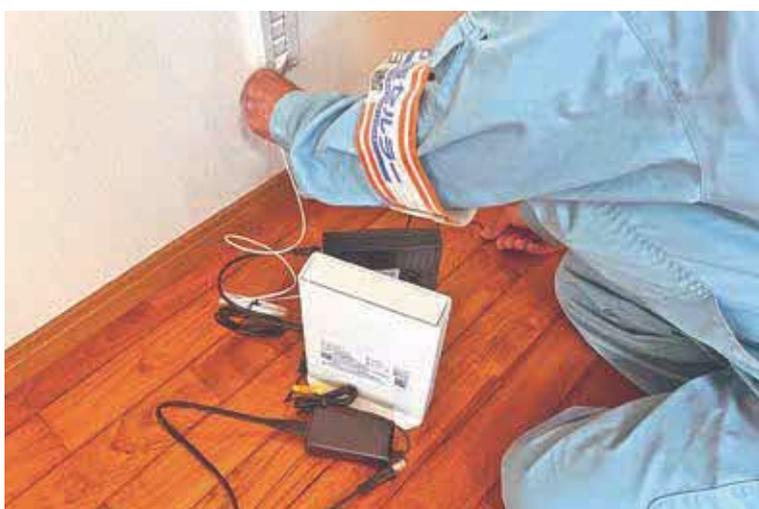
1. デジタルデバイスの解消は、DXを進める上で、重要な案件である。村としては、活用される方々への支援として、現在フリーWi-Fiの設置

やスマートフォン教室の開催などを行っている。村

内の光ファイバー未整備地区については、多額の費用も生じることから、村が主体的に回線を敷設・提供できるものではない。

しかし未整備地区を解消できるよう、通信事業に対して新設、共架調整など要請を引き続き行っていきたくと考えている。

2. 村独自でデジタルデバイス解消に向けた増設や通信環境の改善など事業者などに要請をしているが、県内各離島自治体及び北部自治体同様の事例があれば、連携をして要請を行うことも検討したいと考えている。



auひかりちゅら開通工事



うちま ひろき
内間 広樹 議員

農業経営の安定化に向けて最先端の鮮度保持設備を導入することはできないか

村長

販路拡大と販売機能の強化につながるよう調査研究を実施したい

問 農業経営を取り巻く環境は、動力光熱費など生産資材価格が高騰し、経営コストが大きく上昇しており、本村の農業経営は依然として厳しい状況にある。また、農業従事者全体の高齢化は深刻な課題であり、新規就農者の確保が喫緊の課題となっている。そのような中で、島らっきょうは沖縄の伝統野菜として人気が高く、今後も市場での存在感を高めていくものと期待される。

本村は県内生産量の約7割から8割を占める、県内唯一の拠点産地として認定されている。生産者の高齢化や後継者不足といった課題がある一方で、若い生産者団体が立ち上がり、栽培技術の研修や新商品開発を通じて、島らっきょうの特産品としての価値を高め、持続可能な生産体制を築こうとしている。さらに、「島らっきょうの里」を宣言し、ブランド化と生産振興に向けた取組を進めており、高く評価するものである。島らっきょうの市場価格は、季節的要因と天候要因によって左右され、一般的に冬場に高値、春に安値

で価格が大きく変動する傾向がある。最先端の鮮度保持設備の導入は、単なる品質維持だけでなく、経営戦略として出荷時期や販路を柔軟に調整し、市場価格に左右されにくい、より安定した農業経営と所得向上に有効な手段と考えるが、村当局の見解を伺う。

答 村長

鮮度保持に関する技術は日々進歩しており、経済性や汎用性を考慮した上で島らっきょうの特性に応じた適切な温度や湿度、保存可能期間の実証が必要だと思慮する。村としては、様々な鮮度保持技術に関する情報や知見の収集に努め、生産団体等との意見交換を行いながら、販路拡大と販売機能の強化につながるよう調査研究を実施していきたいと考えている。

問 島らっきょうは、本村が最大の生産地で、県内の水はけの良い島尻マージ土壌の地域が主な産地で、その他地域でも栽培されている。ま

た、県外でも耕作放棄地対策として、島らっきょうの栽培に取り組む地域も出ている。島らっきょうの生産は、県内、県外でも生産・ブランド化が進み、産地間の競争が激化することが予想される。他産地との品質や出荷体制の差別化を図っていくことが、今後重要となる。鮮度保持設備を導入することにより、計画的な出荷調整ができ、市場価格が高い時期に出荷を集中させたり、供給が少ない時期に出荷したりすることで農家収入額に直結する有効な戦略だと考えている。沖縄県との情報交換、鮮度保持設備の視察を実施していただく考えはないか伺う。

答 農林水産課長 浦崎 悟

沖縄県内での鮮度保持の技術を県事業で行っている。島らっきょうの特性に応じた鮮度保持の可能性調査を実施する。視察施設については、しっかり内部で検討していきたいと考えている。

島らっきょうの責任産地として



みやぎ ひろかず
宮城 弘和 議員

生産基盤を継続するためには、計画的な生産と出荷体制の構築に加えて価格変動のリスクの低減を図ることが重要となる。農家の生産意欲を高め、農業所得の増大と継続的な農業経営を実現して、次世代の担い手が意欲を持って携われる農業に継承していけるように取り組んでいただきたい。



独自の鮮度保持技術「ZEROCO」を備えた設備



飲食店業者や宿泊業者への支援策について

村長 制度設計ができないか、しっかりと取り組んでいきたい。

問 本村における飲食店業・宿泊業は、単に食事や宿泊を提供する場所だけでなく、島の地産地消に結びつき観光客に島の魅力を伝える産業である。村内の飲食店や宿泊施設の中にはお客さんが求めているニーズ（清潔感、快適性の向上。トイレの更新などに改修を進めたい業者もいると聞いている。そこで、飲食店業者や宿泊業者が施設改修を整備しやすくするため、補

助制度や商工会と連携した相談窓口などの支援策に取り組みべきだと考えるが村長の見解を伺う。
1. 現在の住宅リフォーム支援事業は住居が対象となっているが、地域の実情を踏まえ飲食店や宿泊施設にも拡充し支援することはできないか。
2. 令和7年3月定例会の予算特別委員会、村長は「現在ある宿泊施設

をしっかりと支援していくにはどういうやり方があるのか、情報収集に努めていきたい」と答弁されている。その情報収集について、その後経過をお聞かせいただきたい。

答 村長

1. 財源確保や新たな制度設計を含めて、これらを総合的に勘案し、関係事業者や関係団体のご意見を伺いながら、検討を進めていきたい。
2. 今年6月に観光振興推進協議会の観光部会を開催し、各団体から様々な意見を聴取した。その中で宿泊施設の老朽化や団体客の受け入れ態勢、人手不足による食事の提供ができないなど、現状の課題や要望等があった。引き続き、宿泊施設をはじめ伊江島観光協会や商工会などと連携を図りながら、情報収集に努めてまいりたい。

問 財政的なことを踏まえ、何か考えはあるか伺う。

答 村長

村が宿泊施設を建てるより、民間に支援したほうが早くなるという、自分なりに考えたりしていた。具体的に踏み込んで、今困っているところを聞いて

いく中で、制度設計ができないか、しっかりと取り組んでいきたい。

名城政英村長の2期目出馬に向けた考えを伺う

村長 2期目に向けて誠心誠意、村民本位の村政運営に全力で取り組んで参りたい

問 伊江村の将来を考えたときに村の人口減少の課題をはじめ、解決すべき課題が山積である。今後、山積する課題解決には、名城村長に引き続き村のかじ取り役を託したいとの声が多く聞こえる。来任期満了を迎える村長選挙に2期目の出馬を決意してほしい。

答 村長

就任から早くも3年が過ぎ、村民から負託された任期も残り7か月となっており、村政の各分野において解決すべき課題が依然として山積している状況にあると認識している。これまでの基本姿勢を堅持しつつ、山積する課題解決を図り、2期目に向けて誠心誠意、村民本位の村政運営に全力で取り組んで参りたい。

沖縄市店舗改修等チャレンジ支援事業補助金事例



(施行前)



(施行後)



なみざと はる お 並里 晴男 議員



伊江島空港利活用有効活用へ現況における

進捗状況と今後への展望を問う

村長 設置管理者である沖縄県に対し引き続き、粘り強く協議を重ねていきたいと考えている

問 伊江島空港利活用有効活用は近い将来、進展していくものと期待と願望がある。

答 そこで、伊江島空港利活用有効活用への現況における進捗状況と今後への展望を問う。

答 村長

各団体等より様々な提案をいただき、設置管理者への沖縄県と協議を行っている。空港運用に関する方式や就航可能な航空会社の検討などを協議しているが、就航可能な事業者や現行滑走路、整備費用などについても、高いハードルがある。令和7年度の施政方針のとおり、今後も村民へのコンセンサスを図りつつ、設置管理者である沖縄県に対し引き続き、粘り強く協議を重ねていきたいと考えている。

問 伊江島空港活用調査業務報告書で、空港開発の影響範囲を伊江島単独とせず名護市、本部町など本島側も視野に入れた広域的な移動を想定することで、伊江島空港を北部観光の玄関口と位置づけ、北部地域の観光振興を目指す空港整備を行う必要があるという県の見解である。伊江島空港の

再開発について、どのぐらい話を進めたいか伺う。

答 企画課長 新保礼人

沖縄県と協議している内容として、就航可能な航空会社の調査の情報をいただいております。空港自体の運営方法、調査業務の中で出ている問題等について、協議をしている。

問 現空港は、RW1,500メートルでプロペラ機用の舗装であり、就航機材が大型化すること、ジェット機の離着陸に向け灯火系の整備、定期便の就航が見込めるのであれば、整備を進める意向があるということ沖縄県空港課が明言されている。

答 次に、沖縄県交通政策課は、伊江島空港は総合交通体系計画に記載されていると、本島北部地域のポテンシャルは認識しており、北部テーマパークの開業や自然史博物館の誘致が進めば、伊江島空港も注目されると考えている。村としての空港再開に対する基本的な考えはどのようなのか。

答 企画課長 新保礼人
令和3年に、村民向けにアンケート

を実施した。空港の再開に希望を持っているかに対し、47%が希望するということ回答であった。問題点は何かに対し、騒音が気になるところと、利活用についても村民が利用促進できるか、金額面等、懸念されるところがあるので、村民へのコンセンサスをしっかりしていきたいながら進めて参りたいと思っております。

問 2,000メートルの滑走路ができて定期便が飛ぶようになれば、航空需要の見通し、最初に空港利用者数が4万から10万、経済波及効果が4億円から10億円と査定されている。最終では空港利用者想定が50万人から100万人、経済波及効果は24億円から73億円とされている。行政、議会、村民一丸となって、空港誘致を進めたいという思いである。村長、決意があれば、聞かせていただけないか。

答 村長

空港の滑走路延長については、あと500メートル延ばすには、軍用地地にかかるとのこと。この件について軍用地地主の皆さんとも、意見交換をしなければいけないという思いもあるが、財源の確保ができ、それが沖縄県が事業主



かめざと しろろう 議員
亀里 敏郎

体になってしっかりとできるのであれば、地主会の皆さんにこの用地を取得させてもらいたいという話もできるが、そういった段階ではないところから踏み出せない。今後は意見交換の中で様々な意見を聴取しながら判断をしていきたいと思う。



伊江島空港 ※パンフレット「沖縄県の空港」より



議決の結果

令和7年 第10回定例会

会期：令和7年12月17日(水)～19日(金)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告第14号	農業集落排水処理施設整備工事(R6機械設備)の専決処分の報告について	12月17日	原案報告
議案第74号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	原案可決
議案第75号	伊江村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第76号	伊江村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第77号	伊江村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第78号	伊江村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第79号	令和7年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	12月18日	//
議案第80号	令和7年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)	12月19日	//
議案第81号	令和7年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	//	//
議案第82号	令和7年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	//	//
議案第83号	令和7年度伊江村水道事業会計補正予算(第1号)	//	//

令和8年 第1回臨時会

会期：令和8年1月30日(金)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
承認第1号	専決処分した令和7年度伊江村一般会計補正予算(第6号)の承認を求めることについて	1月30日	原案承認
議案第1号	伊江村学校給食費徴収条例の一部を改正する条例の制定について	//	原案可決
議案第2号	伊江期地区農業集落排水管路布設工事(R7-2)の請負契約について	//	//
議案第3号	観光イベント等機材備品購入業務の契約について	//	//
議案第4号	伊江村学校教室DX推進(電子黒板整備)事業備品購入の契約について	//	//
議案第5号	令和7年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	//	//

◆議案第4号◆

伊江村学校教室DX推進(電子黒板整備)事業ってなあに!?

平成30年度に整備した電子黒板の機能強化を行い、令和6年度から始まったGIGAスクール構想第2期に対応するため、画面サイズを拡大するとともに、処理能力やネットワーク対応を強化し、より対話的で効果的な授業可能となる最新仕様の電子黒板を整備します。





村女性会・その他一般傍聴者
感想やご意見ありがとうございました

12月定例会 傍聴者の声

12/17

Q1 「議会広報 いえそん」を ご覧になったことはありますか。

①いつも見ている(7人) ②見たことはある(4人)

Q2 もし、あなたが議員なら どのような質問をしますか。

- 空き地になっている公園に遊具を置けないか聞きたいです。子ども達が外で安全に遊べる場所を増やしてほしいです。
- 前回の議会広報でヨットイベントについての質問を見た。ヨットイベント開催はなかなか難しいと思ったが、楽しそうだとワクワクした。私が議員だったら、生活の中で何かワクワクと出来るものに関する質問をしたい。
- 冷蔵施設は、ゆいランド裏の資材売場の向いに建設予定ですか? 資材へ行くときも駐車しにくい時があります。周辺の道路や駐車場整備もお考えですか?
- ジャングリア沖縄開園への対応。隣接する伊江村として、宿泊客の取り込みや日帰りツアーの誘致など、具体的な戦略はあるか?
- 移住定住住宅の利用条件をもっと緩和できないか?
- 修学旅行、民泊のことを質問したいです。
- フェリーの旅客運賃について、郷友会等に加入していない本島で働いている方にも割引運賃は適用できないか?

Q3 議会傍聴の感想を ご自由に記入ください。

- とてもわかりやすかったです。
- いつもこんなふうに考えてくれて感謝します。
- 今後、光回線を利用する予定なので、回線が通っていない場所があることを知らなかった。今後、検討していくということなので期待している。
- 初めての議会傍聴でした。村民の代表として議員の皆さんが質問するにあたって、下調べや状況等を勉強されているなど感じました。いい経験になりました。ありがとうございました。
- 初めての傍聴で村のいろんなことが話われているのがよくなりました。
- 女性の目線での話がないのが残念です。女性の議員も必要だと思います。
- 12月2日 村民との意見交換会での質問について早速議題答弁くださり誠にありがとうございました。今後伊江村住民のより良い暮らしのためによりしくお願いいたします。
- 議員の皆様がそれぞれの質問に調査されてとても勉強になりました。



あの質問・質疑どうなった!?

令和7年9月定例会

村花木のサルスベリを街路樹や公共施設で 増殖することはできないか



チューパンジャまつりでの配布

布された。

現 令和7年11月27日開催の「防風林の日」、12月7日開催の「チューパンジャまつり」にて配布された。

無料配布し、増殖に努める。

答 サルスベリは管理の手間や品種の少なさ、村民の嗜好の多様化等から村内の家庭園等では減少している状況にある。今回の一般質問を受け、これから開催される「防風林の日」や「チューパンジャまつり」等においてサルスベリの苗を

だと思つが、村長の考えを伺つ。

問 昭和60年2月今から40年前に「伊江村の木・花・花木」を選定、昭和60年2月、今から40年前に「伊江村の木・花・花木」を選定、木をガジュマル、花をテッポウユリ、花木をサルスベリと定めた。しかしながら、村木・村花に比べ、村花木のサルスベリは各家庭や公共施設の中で少ないような気がしている。夏場の花の少ない時期に花が咲き、フラワーアイランドの一役にもなっており、各家庭や公共施設で増殖すべきだと思つが、村長の考えを伺つ。



との意見交換会



令和7年12月2日(火)改善センターホールにて、第2回伊江村議会「議会報告及び村民との意見交換会」を開催しました。当日は30名の参加があり、前回意見の進捗報告や議員のなり手不足と女性議員の議会参画についての報告を行いました。そして、各常任委員より、各団体よりいただいた事前意見の回答を行った後、総務常任委員会、経済・公営企業常任委員会の2班に分かれ意見交換会を行いました。



総務 常任委員会 グループ

● 当日の意見要望に関する回答 ●

意見・要望	回答・対応
中学校でもタブレット学習を行っているが、ネット環境が悪く、授業に影響がある。	中学校へ確認したが、電波の悪い場所や有害サイト等に入った場合にシャットダウンする状況である。基本的に通信基盤は民間事業者が整備を行い管理している。村としても状況を把握しているので、確認し要請していきたい。
定数を9名にし、予算削減(1名分の給与等)も含め検討する必要はないか。来年、選挙があるが、10人に満たさなかった場合、今後検討していくのか。	住民から多く定数減のお話があれば「検討委員会」を立ち上げ検討する必要がある。ここ数回は議員選挙が行われている(無投票はない)が、次回の状況で検討の余地はあると思う。
伊是名村等の環境協力税(100円)がある。伊江村もフェリー船賃にプラスして取ることはできないか。その代わりにビーチの入場料を無料にしてほしい。(ビーチに食事だけをしたいが入場料を払っている)	伊是名村の環境協力税は村民も乗るたびに徴収されている。竹富町は広島県の宮島を参考に町民から徴収しない方向で進めているが、民間の船会社とも徴収について難航していると聞いている。国と調整し進められるものであるため、他市町村も注視し、調査研究を行っている。
入島券(観光客向けパスポート)を発行して、村内のお土産などを割引にするのはどうか。	議会として調査研究していく。
民生委員について、報酬(手当)等を与え業務として位置づけできないか。	議会で一般質問を行ったが、村当局より、報酬としてはそぐわないので、手当として検討するとの回答であった。
村として雇用情報(雇用職種、雇用人数等)を調査されて紹介(斡旋)できないか。	農業関係の繋がりで雇用している状況もあるが、いい方法がないか村当局に協議していきたいと思う。

第2回 議会報告・村民



経済・公営企業 常任委員会 グループ

● 当日の意見要望に関する回答 ●

意見・要望	回答・対応
観光客向けプレミアム商品券を引き続き実施してほしい。	村当局へ継続していけるように申請していきたい。
畜産総合施設を利用しないと補助金がとれない。昔は1人10万円程補助金があった。11月、2月セリもなくなり、セリ市場の運営が難しい。市場も畜産総合施設もあるので、村として色々検討できないか。	施設に預けないと助成金は得られない状況であり、以前は村とJAと半分ずつで10万円という事業もあった。現状の意見を聴取し関係者と協議していきたいと思う。
JTの補助事業分に加え、村で5～10%の補助をしていただけないか。	予算も伴うため担当課と調整していく。
村営施設の維持管理について、今後、なにかしらの予算をつけ、検討していく必要があるのではないか。	今後の研究課題とさせていただく。
旧BGの解体について、数千万かかる話も聞いているが、今後の予定は？	以前計画のあった合宿施設又はホテル誘致時に同時に解体をさせる考えもあったが、現状は未定。情報収集していく。
真西地区の通水により、野菜の品種も増やすことができると思う。早めにお願したい。	令和8年3月から一部通水という報告は聞いている。早急に実現できるよう議会としても働きかけていく。
人材育成の機会を若い子達にもっと与えてほしい。 例：旧BGの時は、水泳指導者の資格をとらせて派遣していた等	ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていきたい。
ゆり祭りの入場料はなぜ取らないのか。入場料をとれば無料バスの費用もペイできるのでは。	入場料については、以前から、議会からも意見を出している。村民からも意見があることを村当局と協議していきたい。
今後、老人に向けた支援を(例：タッチゅん商品券など) ※一律ではなく、70歳以上に1万円など	ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていく。
冷蔵庫の件で、指定管理先が未定で導入するのは違うのではないか。JAではなく農家に指定管理させてみてはどうか。	指定管理について、JA以外でも可能かどうかを確認し、村当局へ調整協議していきたい。
政策の立案について、住民から要望があった時に、調査研究をし、どのように政策を立案していくのか、過程などが知りたい。	住民からの意見要望を受け、常任委員会にて議論し立案する流れとなっている。
最低賃金が上がると、個人事業主に負担が出てくると思うが、プレミアム商品券のようなものを個人事業主向けに販売し、事業主が給料を払う際に、一緒に取らせるのはどうか。※上がった差額分を券で補う。	ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていきたい。
ゆりの球根代の何割かを補助できないか。	ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていきたい。
フェリーは現在2隻あるが、今後、高速艇のようなものを入れる考えはあるか。	以前に「高速艇」について調査された経緯があり、導入する可能性は低いと報告があった。
フェリーの荷物の積み方について、冷蔵・冷凍の状態で運べるような整備できるか。	ご意見として受け止め、今後の研究課題とする。
ホースがつまらないようフィルター、液肥混入器等の補助が可能なのか。	ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていきたい。
補助でできた平張りに補助でスプリンクラーが入られるのかどうか。路地にマイクロではなく、スプリンクラーを入れるのかどうか。	スプリンクラー単体での事業導入については、県に要望していると行政の報告を受けている。ご意見として受け止め、村当局へ声を届けていきたい。



11/28 戦後80年 伊江村収容跡地(久志記念碑)



感謝の集い

名護市久志区で行われた「戦後80年 伊江村収容跡地(久志記念碑) 感謝の集い」に参加しました。

約70名の参加があり、式典では黙祷を行い、伊江村長、伊江村議会副議長、久志区長、イーヅマ郷友会、久志区関係者より、献花が行われました。その後、伊江村から久志区へ感謝状や記念品を贈呈し、村民俗芸能保存会による、伊江島民謡奉納が行われました。



12/18 伊江中学校 ふれあい給食

伊江中学校生徒と、ふれあい給食が行われました。

8名の議員が参加し、それぞれ各学級に分かれ、給食を楽しみ、生徒と交流を深めました。琉球料理の日ということで、沖縄そばやおから卵の花サラダなどが提供され、美味しい給食をいただいた後、各議員から生徒へ激励の言葉を贈りました。



12/18 沖縄離島体験・デジタル交流促進事業 両小学校発表会

伊江村農村環境改善センター2階ホールにて、伊江小・西小学校5年生による、沖縄離島体験・デジタル交流促進事業発表会が行われ、参加しました。

離島体験を経て学んだこと、伊江島を将来どのようにしていきたいか等の思いを、パワーポイントを使い発表していただきました。



1/20 伊江中学校生徒会 議長表敬訪問

伊江中学校の生徒会執行部7名と教諭1名が、渡久地議長を表敬訪問しました。名刺交換や自己紹介のあと、議長より激励の挨拶を行い、議会の役割や仕組みについて説明を行いました。

その後、議場へ案内し、実際に議員席に座り、議場中継の様子を確認したり、議長に質問する等、議場の雰囲気を経験しました。



1/28 議会広報 研修会

沖縄県市町村自治会館にて開催された、町村議会広報研修会に広報委員4名で、参加しました。

研修会には、約110名の参加があり、講師には議会広報ファシリテーターの越地 真一郎氏を迎え、「広報から議会が透ける～『見出し』は『身だしなみ』～」と題した講演会が行われました。他市町村の事例を交えながら、読まれる広報誌づくりのポイントを学びました。



2/19 北部市町村議会議員・事務局職員 研修会及びスポーツ・レク大会

名桜大学にて開催された、令和7年度北部市町村議会議員・事務局職員研修会及びスポーツ・レク大会に全議員で参加しました。

講演会では、名桜大学地域連携機構長の前川美紀子氏を講師にお招きし、「地域連携の取り組みについて」をテーマに、講演が行われました。

講演後、名護市一般廃棄物処理施設の視察と、レクリエーションを行い、各市町村の議員及び事務局職員の交流を深めました。

親睦交流会では、国頭村、本部町、伊平屋村、金武町が余興を披露し、会場を盛り上げていただきました。



現職議員の
任期は
9月まで!!

議員に立候補する条件と流れ

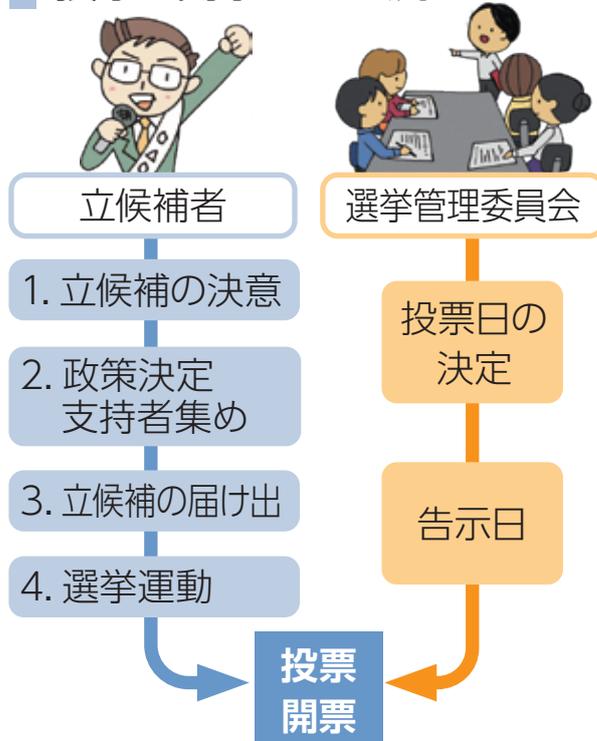
伊江村の議員に 立候補するための条件

1. 日本国民で満25歳以上であること
2. 伊江村議会議員の選挙権を持っていること
3. 供託金15万円が必要

「供託金」って何!?

立候補の届出をする場合、一定額の現金または国債証書を法務局に預け、その証明書を提出しなければなりません。これを「供託」といいます。供託は、売名などの理由で立候補を防ぐための制度です。得票数が規定数に達しなかった時や、立候補を辞退した場合に全額没収され、村に納められます。

立候補から 投票・開票までの流れ



議員なり手不足に潜む 3つの危機!?



1 町村議会に とっての危機!

➡ 無投票・定数割れ団体数は右肩上がり。同じペースで増え続けると仮定した場合、全体の3分の1を超える34.1%の議会が無投票になる可能性があります。

➡ 立候補者が「定数+1」となり無投票を辛うじて回避した町村の数は229 (令和元年5月から令和5年4月)。これは全体(926)の32.3%であり、無投票254市町村を加えると、553 (59.7%) となります。

2 町村に とっての危機!

➡ 独任制の長と異なり、住民の多様性を反映した合議体であることが議会の存在意義であります。

➡ なり手不足・無投票は、議会の団体意思決定・政策立案・行政監視の各機能に大きな影響を及ぼし、議会の存在意義や二元代表制の趣旨が損なわれることに繋がります。

3 都道府県・国に とっての危機!

➡ 4年に一度の選挙戦が必ず実施されることが主権者意識涵養の要であるため、選挙戦の機会が度重なって失われることは地方自治の弱体化を招きます。

「地方自治は民主主義の学校」であり、地方自治の弱体化は都道府県・国にとっても危機となります。



議会広報「いえそん」No.191号 (12月号)

議会広報の感想を聞いてみました。



伊江郵便局
局長



かみや まもる
神谷 守

行政区：東江前区 出身地：首里

自己紹介

昭和50年に生まれ、昭和で教えると丁度100年目(令和7年12月)に伊江島に着任しました。身長が伊江島を象徴とする城山と数字が同じ172cmであることも勝手に縁を感じております。

議会広報「いえそん」を読んでの感想

これから輝かしい未来のある小さな子の笑顔たちと、真剣なお顔の写りが印象的。島の生活と未来のために安心を感じます。

伊江村に期待すること

伊江島は他の離島と比べて船便も多く、観光やビジネス面でも多くの可能性を感じます。離島であることがマイナスではなく、プラスとなるような将来に期待します。

議会広報「いえそん」を読んでの感想

全ページがフルカラーで、写真も多く使われており見やすく、文章も短くまとめられており、読みやすく作成されていると感じました。

伊江村に期待すること

議会と行政が一丸となり生活向上に向け取り組んでいただき、今後、伊江村がさらにより良く発展していくことを期待します。



JA おきなわ伊江支店
支店長



あさと まさみつ
安里 正光

行政区：真謝区 出身地：真謝区

自己紹介

昭和43年生まれ、申年です。令和7年7月から伊江支店で勤務しております。7年ぶりに故郷の伊江島に帰ってきました。今後ともよろしく申し上げます。



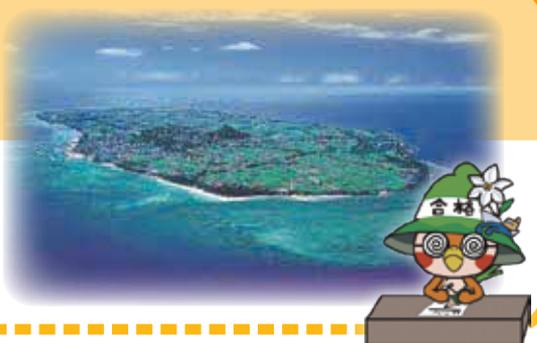
一連携企画 第7弾—

広報誌を読もう



Q. 伊江島の面積は東京ドーム何個分？

A. 伊江島広報「イーハッチャー」3月号に掲載！



- ①海が綺麗で地域の方々がみんな優しいところです。
- ②人口を多くして村から町にしていきたいです。
- ③自分で車の会社を作りたいです。



東江前区

まえだ りうら
前田 琉楽

2年



西江上区

ともよせ ゆい
友寄 由唯

2年

- ①自然を感じながら成長できるところ。海や緑を見て、人の温かさを感じ、学年が上がっていくのはここでしかできないと思います。
- ②観光業も盛んに、地域の人も楽しく過ごせる伊江島。帰ってきたときに遊ぶところがたくさんあったらうれしいです。
- ③世界旅行をしたい。世界中の様々なもの、人にとって楽しみたいです。



東江上区

へしき きょうこ
平敷 杏心

2年

- ①自然が豊かで海や砂浜が綺麗なところ。ゆり祭りやハーリー、チューパンジャ祭りなどイベントが多く観光客も多いところ。
- ②伊江島の魅力をもっと多くの人に伝えて、今よりもさらに知名度を上げたい。
- ③高校・大学に進学し、人の役に立てるような仕事をしたい。

新伊江中生徒会に聞いてみました!

- ①伊江島のいいところは
- ②将来こんな伊江島にしたい
- ③将来の夢について

私たちの未来



川平区

しもじょうのえ
下門 乃英

2年

- ①海や山、美しい景色がたくさんあって自然豊か。地域の人が優しい。
- ②伊江島を出ても、また帰ってきたいと思える場所になりたい。県外の人でも伊江島に行きたいと思える場所になりたいです。
- ③まだ決まっていないので、自分のやりたい夢ややりたいことを見つけられるように頑張りたいです。



阿良区

ともよせ てるま
友寄 輝万

2年

- ①伊江島の人たちはみんなやさしいところ。とても海が綺麗なところ。シンボルの城山が目立っていて、とてもいい。
- ②人口がたくさんいて、観光客がたくさんいて他の市町村に負けない伊江島にしたいです。
- ③TOYOTAで新しい車の開発をしたいです。

- ①地域の人がとても優しく、自然豊かで海がきれいなところ。
- ②島立ちした人がまた、伊江島に帰ってこようと思える島。飲食店が増え、本島とつながる橋ができてほしい。
- ③明るく、みんなに優しく接することができる人になりたいです。

東江上区

おおしろ みちひめ
大城美智姫

1年



- ①村民が優しいことや自然が多いところ。
- ②将来は、人口が多くなり不便がない伊江村にしたいです。
- ③コミュニケーション力が高く、みんなと協力し合える大人になりたいです。

東江前区

おおた ろい
大田 玲碧

1年



議会の活動

12月 December

- 1日：町村議会定例会役員会・年末懇親会（議長／那覇市）
- 2日：第2回伊江村議会「議会報告及び村民との意見交換会」（全議員）
- 7日：チューパンジャまつり2025、村政功労者表彰式 第53回産業まつり表彰式（議員）
- 9日：特定専門職定任促進住宅起工式（正副議長）
- 11日：議会運営委員会、全員協議会（全議）
- 12日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 14日：第14回ハイビスカスカップ小中学生ゴルフ大会（議長）
- 17日～19日：第11回伊江村議会定例会（全議）
- 18日：伊江中学校ふれあい給食（議員）
両小離島体験交流促進事業発表会（議員）
- 20日：名城大学 開学30周年・公立大学法人化15周年記念式典・祝賀会（議長／名護市）
- 24日：ゆり祭り実行委員会（正副議長）

1月 January

- 4日：二十歳を祝う会（議員）
新年交換会（議員）
- 6日：消防出初式（全議員）
- 9日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 13日：北部医療センター安全祈願祭（副議長／名護）
- 14日：初セリ市（議員）
- 14日：北部地区監査委員研修会（虻江監査委員／大宜味村）
- 15日：一般社団法人沖縄県建設業協会北部支部 令和8年新春の集い（議長／名護）
- 20日：伊江中学校生徒会議長表敬訪問（議長）
- 23日：国・県出先機関の長及び関係団体等と北部市町村との新年会（議長／名護市）
- 28日：町村議会広報研修会（広報委員／那覇市）
- 30日：第1回伊江村議会臨時会（全議員）

2月 February

- 3日～4日：定期監査（虻江監査委員）
- 5日：北部医療組合議会定例会（副議長／名護）
- 7日：日本ハイビスカス協会総会（議長）
- 9日：例月出納検査（虻江監査委員）
第2回健康づくり推進協議会（議長）
- 12日：広報委員会（広報委員）
- 12日：令和8年第72回沖縄県介護保険広域連合議会定例会（義範議員／読谷村）
- 18日：北部振興会第2回評議委員会（議長／名護市）
- 19日：令和7年度北部市町村議会議員・事務局職員研修会及びスポーツレク大会（全議員／名護市）
- 24日：町村議会議長会理事会・定例総会（議長／那覇市）
- 25日：離島市町村議員・事務局職員研修会（全議／那覇市）
- 26日：町村議会議員・事務局職員研修会（全議／南風原町）
- 27日：北部広域組合議会定例会（議長／名護市）



チューパンジャまつり2025



消防出初式



わたし 私がいえそんを か 書きました!

きごう
題字揮毫者

名前	あら かき じゅん こ 新垣 順子
生年月日	大正15年1月15日生 満100歳
行政区・屋号	阿良区・アラカチンヤー

【老人ホーム 昴】 職員からみた順子さん

いつでも元気があり、お世話好きな順子さん。100歳になりますが、若々しくて、しっかり者で何に対しても常に真剣で真面目な方。これからも健康第一で、笑顔あふれる順子さんでいてくださいね♡



ダウンチュイムニ 独り言

西崎区の小濱勝良さんの孫・小濱佑斗選手が、名門・巨人軍の一員としてプロの舞台に立ちました。幼い頃から幾度となく島を訪れ、豊かな自然の中で感性を磨いてきた佑斗選手は、まさに「島の血」を引く期待の星です。阿部慎之助監督が昨年末に家族旅行で島を訪れた際、私と勝良さんが監督とお会いする機会がありました。そこで佑斗選手が伊江島出身であることを伝えると、監督は大変驚かれ、「不思議な縁を感じる」と感慨深げに語っていらっしゃいました。島を愛してくれる監督と、島の期待を背負う佑斗選手。この不思議な巡り合わせが、1軍での躍動に繋がると確信しています。みんなで熱いエールを送りましょう！

伊江村議会議員 宮城 弘和



今月の表紙は、伊江港にて行われた伊江村消防出初式の様子です。

▶ 3月定例会予定 3月9日(月) 午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局 (☎49-2924) へお問合せ下さい。
発熱や風邪、倦怠感のある方はご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。



読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

